



2024年8月9日

各位

会社名 GFA株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

(訂正) GCM S1 証券株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、2024年7月23日付「GCM S1 証券株式会社との業務提携に関するお知らせ」において公表しました内容につきまして一部訂正が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

当社は現在、2024年7月23日付「GCM S1 証券株式会社との業務提携に関するお知らせ」において公表しましたとおり、GCM ホールディングス株式会社の100%子会社であるGCM S1 証券株式会社と金融サービス事業において業務提携を行うことに関して協議を行っておりますが、本件の協議上における窓口は親会社であるGCM ホールディングス株式会社になります。

本件の開示上の内容においては、その点に関する部分が曖昧であり、直接にGCM S1 証券株式会社との協議であるかの内容として誤解を招く可能性もあったため、一部内容の訂正を行っております。

なお、本件につきましては、GCM S1 証券株式会社においても当社との協業について、その具体的内容等も今後検討を実施し、最終的には当社との協議を行いながら、協業の実施についても判断をしていく予定である旨に変更はございません。

2. 訂正内容（訂正箇所は下線を付しております。）

（訂正前）

当社は、GCM ホールディングス株式会社の100%子会社であるGCM S1 証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高須 茂巳、以下「GCM証券」といいます。）と金融サービス事業において業務提携を行うことに関して、両社協議の上、2024年7月23日付で合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の目的

当社は、不動産・金融事業を本業とし、最先端のメタバース空間の展開を含めた様々な事業開発・金融支援を行っております。複数の事業会社を子会社・関連会社として有しており、それら事業を連携させながら、メタバース・フィンテックといった最先端領域の市場創造にも尽力をしつつ、本業の不動産・金融事業の収益を最大化すべく事業推進を行っております。

金融サービス事業におけるファイナンシャル・アドバイザー事業では、資金調達を計画している上場企業などに対して、そのニーズを収集し、助言及び資金調達支援を行っております。資金調達先のアレ

ンジャーとして国内外のファンドや機関投資家、事業法人などの投資家のご紹介、自己資金等での資金提供も提案しております。

ファイナンシャル・アドバイザー業務においては、当社が連携するエムケイドットエックスグループからの EV 用バッテリーを対象としたプロジェクトファイナンスの組成依頼や、当社取引先が運営するデータセンターに必要な GPU サーバーの仕入れ資金ニーズ等が具現化しており、当社の有するパートナーと連携しながら、エクイティを含めたファンドレイズの活用法を模索しておりました。

今般、当社は当社子会社の社長より紹介を受け、**GCM 証券**と協議を重ねた結果、GCM 証券の持つ国内における総合金融ライセンスを活用した、貸付型クラウドファンディングなどを実行することで、(1)GPU サーバー (AI データセンター) 特化型ファンドの組成・運営、(2)EV バッテリー専用ファンドの組成・運営等の取り組みに関して話し合いを実施しております。

これまでの GCM 証券におけるファンド組成・運用のトラックレコードと当社のファイナンシャル・アドバイザー業務における国内外投資家のネットワークも駆使すれば、本スキームの実現可能性も高いと考えております。

同スキームにより、当社のファイナンシャル・アドバイザー費用 (ファンド組成費用・信託報酬等) もレベニューシェアにより確保できることから、当社の安定した収益構築に寄与することが期待できます。

GCM 証券との協業が実現することにより、当社内外の資金ニーズ等に幅広く応えることが可能となり、中長期的には当社の業績及び企業価値の向上に資するものとも考えており、今般の業務提携を行うことに関して、**両社**で合意に至っております。

4. 今後について

現在、**GCM 証券**と本件の開始時期を含む詳細条件などを最終協議していることから、両社で実施していく具体的な協業、更なる戦略的コラボレーション等については、詳細が固まり次第、速やかにお知らせいたします。

また、本件が現時点において当社連結業績に与える影響につきましては現在精査中であります。

(訂正後)

当社は、GCM ホールディングス株式会社の 100%子会社である GCM S1 証券株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役：高須 茂巳、以下「GCM 証券」といいます。) と金融サービス事業において業務提携を行うことに関して、**当社と GCM ホールディングス株式会社は協議の上**、2024 年 7 月 23 日付で合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の目的

当社は、不動産・金融事業を本業とし、最先端のメタバース空間の展開を含めた様々な事業開発・金融支援を行っております。複数の事業会社を子会社・関連会社として有しており、それら事業を連携させながら、メタバース・フィンテックといった最先端領域の市場創造にも尽力をしつつ、本業の不動産・金融事業の収益を最大化すべく事業推進を行っております。

金融サービス事業におけるファイナンシャル・アドバイザー事業では、資金調達を計画している上場企業などに対して、そのニーズを収集し、助言及び資金調達支援を行っております。資金調達先のアレンジャーとして国内外のファンドや機関投資家、事業法人などの投資家のご紹介、自己資金等での資金提供も提案しております。

ファイナンシャル・アドバイザー業務においては、当社が連携するエムケイドットエックスグループからの EV 用バッテリーを対象としたプロジェクトファイナンスの組成依頼や、当社取引先が運営するデータセンターに必要な GPU サーバーの仕入れ資金ニーズ等が具現化しており、当社の有するパートナーと連携しながら、エクイティを含めたファンドレイズの活用法を模索しておりました。

今般、当社は当社子会社の社長より紹介を受け、**GCM ホールディングス株式会社**と協議を重ねた結果、GCM 証券の持つ国内における総合金融ライセンスを活用した、貸付型クラウドファンディングなどを実

行することで、(1)GPU サーバー (AI データセンター) 特化型ファンドの組成・運営、(2)EV バッテリー専用ファンドの組成・運営等の取り組みに関して話し合いを実施しております。

これまでの GCM 証券におけるファンド組成・運用のトラックレコードと当社のファイナンシャル・アドバイザー業務における国内外投資家のネットワークも駆使すれば、本スキームの実現可能性も高いと考えております。

同スキームにより、当社のファイナンシャル・アドバイザー費用 (ファンド組成費用・信託報酬等) もレベニューシェアにより確保できることから、当社の安定した収益構築に寄与することが期待できます。

GCM 証券との協業が実現することにより、当社内外の資金ニーズ等に幅広く応えることが可能となり、中長期的には当社の業績及び企業価値の向上に資するものとも考えており、今般の業務提携を行うことに関して、当社と GCM ホールディングス株式会社は合意に至っております。

4. 今後について

現在、当社と GCM ホールディングス株式会社は本件の開始時期を含む詳細条件などを最終協議していることから、両社で実施していく具体的な協業、更なる戦略的コラボレーション等については、詳細が固まり次第、速やかにお知らせいたします。

また、本件が現時点において当社連結業績に与える影響につきましては現在精査中であります。

以 上